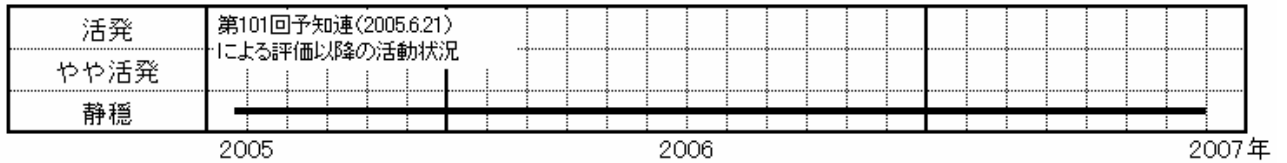


有 珠 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。



○ 概況

・ 噴煙活動（図 2）

西山西麓火口群N-B火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さはおおむね100m以下で推移しました。

・ 地震活動（図 2、図 3、表 1）

火山性地震は1日あたり0～4回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。求まった震源は山頂部直下の浅い所に分布しており、これまでと比べて変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 4、図 5）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

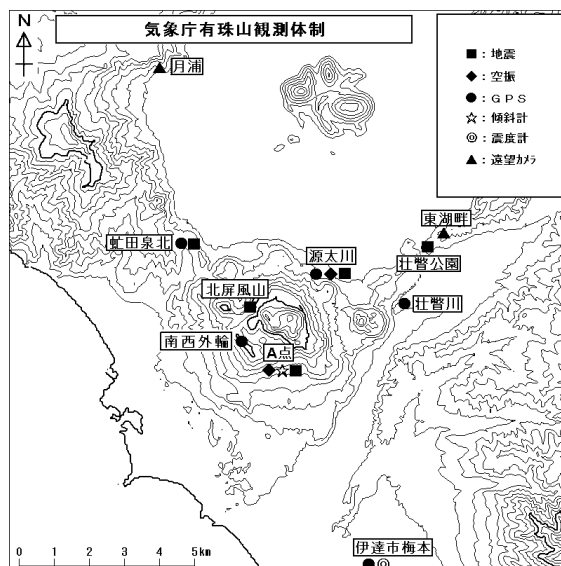


図 1 有珠山 火山観測点配置図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

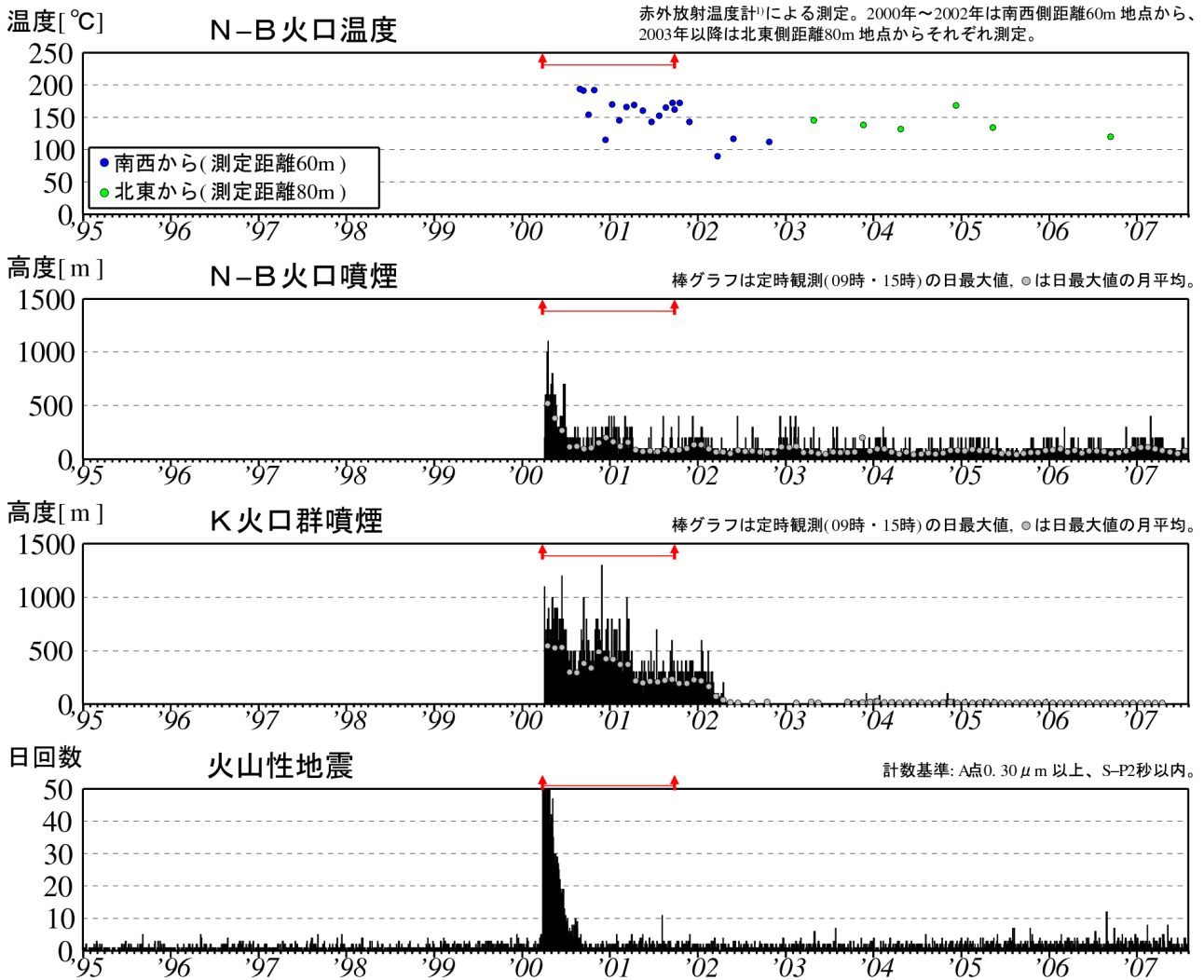


図 2 有珠山 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 7 月）

↑印で挟まれた期間は 2000 年噴火活動期

・ 2000 年 9 月以降、地震回数は 1 日あたり概ね 5 回以下で推移しています。

- 1) 赤外放射温度計は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図3のUSUA）

2006～2007年	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
地震回数	34	40	34	33	37	40	36	24	37	33	26	26
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

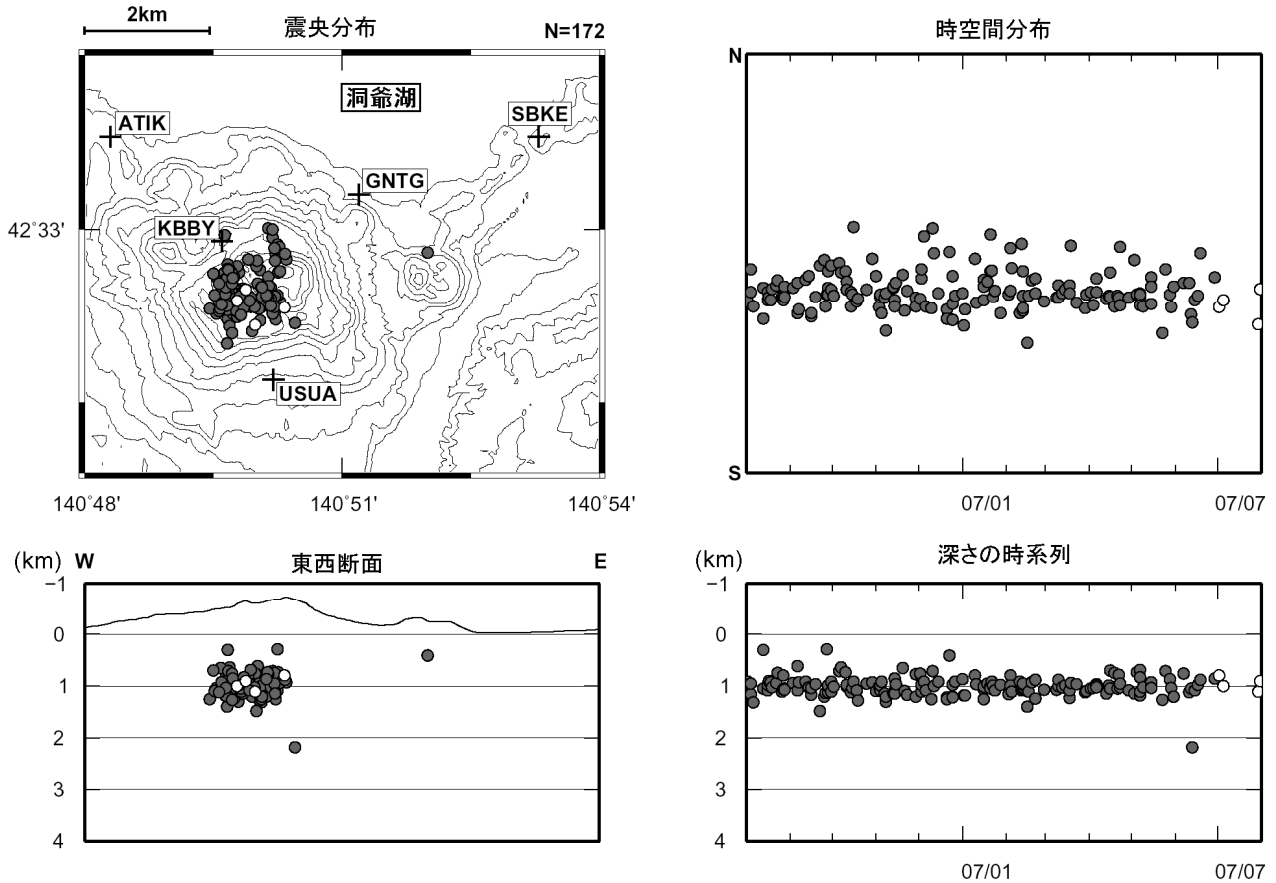


図 3 有珠山の震源分布図（2006年8月～2007年7月、+は地震観測点）

- 印は今期間（2007年7月）の震源
- 印は前期間までの11ヶ月間（2006年8月～2007年6月）の震源
- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

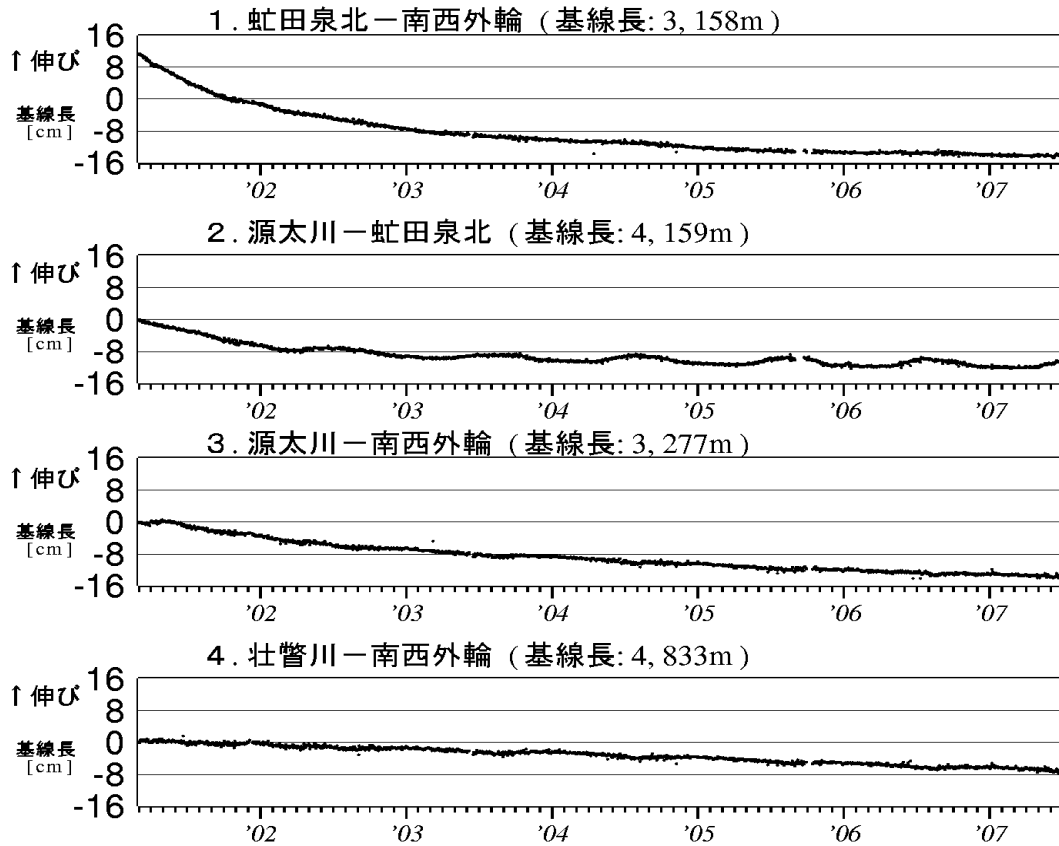


図4 有珠山 GPS連続観測による基線長変化（2001年3月～2007年7月）
 グラフの空白部分は欠測
 図4の1～4は、図5のGPS基線①～④に対応しています。

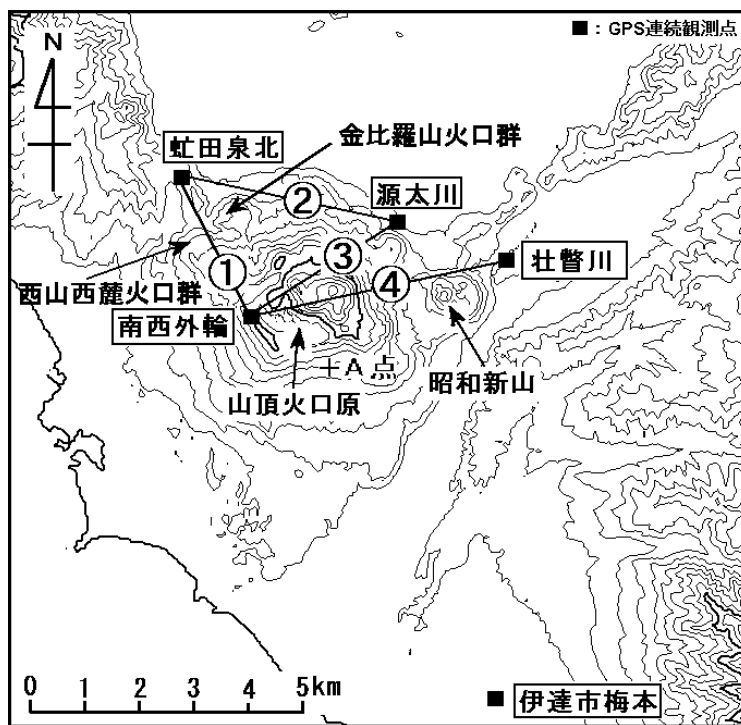


図5 有珠山 GPS連続観測点配置図